

款10 教育費

項1 教育総務費

目1 教育委員会費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
8,510,000円	8,003,709円		506,291円

委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会を14回開催し、教育行政の基本方針、小・中学校、幼稚園の教育指導方針、重点施策及び条例規則の改正等39件の審議を行うとともに、諸事業の円滑な執行に努めました。

〔委員報酬〕	5,346,145円
・教育委員会 委員長 1人 委員 3人	
〔交際費〕	1,400,214円
〔学校永年勤続者表彰経費〕	285,600円
〔負担金〕	646,160円
・三重県市町村教育委員会連絡協議会	366,560円
・三重県都市教育長会	118,000円
・全国都市教育長会等	30,000円
・三重県体育・スポーツ振興期成会等	131,600円
〔一般経費〕	325,590円

目2 事務局費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,166,845,000円	1,161,704,958円		5,140,042円

教育行政の円滑な運営を推進するため、職員の適正配置により公務能率の向上を図るとともに、職員の健康管理と執務環境の整備に努めました。

〔一般職給〕 75人	739,208,164円
〔嘱託職給〕 24人	64,399,853円
〔退職手当〕	312,885,059円
〔公務災害補償費〕	7,576円
〔事務局管理運営費〕	42,921,426円
・職員健康管理費	2,778,167円
・職員研修費	1,054,700円
・一般経費	39,088,559円 (その他特財 286,986円)
〔教職員住宅経費〕	2,282,880円 (その他特財 2,176,800円)
・維持管理費(西松本町、あかつき台四丁目)	

目3 教育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
351,019,000円	330,441,094円		20,577,906円

本市の学校教育指導方針、努力目標を達成するために各種の事業を行い、学校教育の充実に努めるとともに、育英事業、私立学校等の振興にも努めました。また、国の少子化対策臨時特例交付金事業を受けて、私立幼稚園等の少子化対策事業に対し、補助を実施しました。

〔奨学資金〕	9,540,189円
四日市市奨学資金貸与規則に基づき、高校生14人、大学生82人、専修学校専門課程学生7人の計103人に奨学資金の貸与を行いました。(貸与額 25,152,000円)	
〔私立学校等振興助成費〕	36,814,260円

・私立学校等運営費補助金	10,720,350円	
・私立幼稚園運営費補助金	10,363,510円	
・私立幼稚園教員研修費補助金	1,870,000円	
・私立幼稚園協会運営費補助金	90,000円	
・私立幼稚園保育料補助金	13,590,400円	
・私塾教育振興助成費	180,000円	
[少子化対策振興補助金]	140,843,560円	(国庫支出金 140,843,560円)
私立幼稚園17園及び認可外幼稚園4園の少子化対策事業に対して補助金を支出しました。		
[四日市大学新学部設置費補助金]	30,000,000円	
平成9年度開設の環境情報学部設置補助(平成7~12年度債務負担事業、総額15億円)		
[委員報酬]	281,100円	
・障害児就学指導委員会委員 4人		
[教育課程調査検討事業費]	205,065円	
平成14年度から実施される新しい教育課程を円滑に実施できるように、教育課程検討委員会の設置と各小中学校への啓発を行いました。		
[児童生徒指導事業費]	36,128,428円	
・教育相談事業費	880,000円	
3人の教育相談員の他に2人のスクールカウンセラーを山手・内部中学校へ配置		
・学校安全教育推進事業費	220,000円	
学校安全教育の推進を図るため、研修会を開催。学校安全推進校4校を指定		
・障害児教育推進事業費	376,030円	
障害児教育の啓発や推進を図るため、説明会や実践交流会を開催。障害児教育推進校3校を指定		
・環境教育推進事業費	1,477,590円	
野性生物保護モデル校として2校を指定するとともに、環境教育学習資料を配布		
・国際理解教育推進事業費	5,314,399円	(その他特財 960,000円)
中学生海外使節派遣として市内公立中学2年生を中国天津市等へ派遣。国際理解推進校6校を指定		
・中学校単位地域すこやか協力者会議事業費	630,000円	
学校だけでは解決できない問題行動への対応のため、地域の関係者の代表による会議を開催		
・児童生徒指導対策事業費	9,910,000円	
児童・生徒の問題行動に対応するため、各小中学校において、校外補導、夜間の家庭訪問、対策会議等を実施		
・帰国・来日外国人児童生徒教育充実事業費	4,859,418円	
ブラジルから適応指導員1人を招致し、主に受け入れ拠点校(中央小、橋北中)において学習指導の補助や日本語の指導、悩み事の相談を担当		
・スクールカウンセラー活用調査研究委託事業費	2,161,000円	(県支出金 2,161,000円)
文部省の調査研究委託を受け、児童・生徒の臨床心理に関する専門的な知識を有するスクールカウンセラーの活用に関する調査研究を実施(西朝明中)		
・豊かな人間性をはぐくむ体験活動推進事業費	1,699,991円	
学校、家庭、地域社会が連携した、職業体験、三世代交流活動、ボランティア活動等多様な社会体験活動を実施		
・心の教室相談員活用調査研究委託事業費	8,600,000円	(県支出金 8,600,000円)
文部省の調査研究委託を受け、生徒が悩み等を気軽に話すことのできる心の教室相談員を配置し、その活用と効果に関する調査研究を実施		
[幼稚園子育て支援調査研究委託事業費]	1,382,000円	(国庫支出金 1,382,000円)
文部省の調査研究委託を受け、幼稚園における子育て支援活動の在り方について調査研究を実施しました。		
[心の教育推進地域指定事業費]	1,000,000円	(県支出金 1,000,000円)
県の推進地域指定を受け、児童生徒の問題行動やいじめ、不登校等の問題に対応するとともに、生命を尊重する心や豊かな人間性を育む教育の充実を図りました。		
[教職員研修費]	3,543,730円	(県支出金 34,000円)
生徒指導担当者、研修担当者、障害児保育担当者等の資質を高めるために講演会等を開催しました。		
[英語指導員経費]	36,781,600円	
姉妹都市ロングビーチ市から英語指導員7人を招致し、県教育委員会から英語指導助手1人の派遣を受けて、中学校英語教育の一層の充実向上と、小中学校の国際理解教育を推進しました。		
[教職員研修費]	211,560円	
多様化する教育現場の課題解決、管理職の学校管理運営能力の向上を図るため、公立の小中学校長、		

教頭を対象とした研修をそれぞれ開催しました。

〔保健給食費〕	1,214,072円
・保健給食研修費	122,255円
学校保健会を開催するとともに全国学校保健会に6人（うち職員2人）を派遣	
・環境衛生検査室管理費	396,977円
学校の環境衛生を維持するため、本町プラザ内に設置している環境衛生検査室の備品を充実	
・四日市学校保健会補助金	540,000円
学校の保健衛生・安全教育を振興	
・四日市学校保健大会開催費	154,840円
健康増進、体力向上などについて関係者が集まり実践研究発表や講演会を実施	
〔科学教育振興費〕	229,510円（その他特財 181,411円）
・小管科学教育振興事業費	
子ども科学教室（15回、延べ311人）の開催や科学教育奨励賞（4グループ）の授与	
・小管科学教育振興基金（昭和39年3月設置 本年度末現在高 29,064,697円）	
〔学校同和教育事業費〕	20,894,614円
・人権教育推進事業費	3,249,320円
各校園での同和人権教育の推進を図るため、人権教育推進校委託等各種委託事業を実施	
・指導体制充実事業費	7,848,294円
教職員の資質向上を図るため、全国人権同和教育研究大会等各種研修会への派遣委託を実施（延べ681人）	
・奨学資金	6,016,000円
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、高校生39人、大学生13人に支給	
・入学支度金	1,042,000円
四日市市同和奨学資金給付要綱に基づき、平成12年度の新入学（園）者42人に支給	
・四日市同和教育研究会運営費補助金	2,739,000円
〔負担金〕	4,648,680円
・三泗教育発表振興会	2,577,800円
三泗地区の小中学校の児童生徒の教育成果を発表	
・教科用図書採択協議会	676,000円
平成12年度から新しく使用する小学校教科用図書採択のための、北勢第2地区教科用図書採択協議会の負担金	
・三重県乳幼児教育センター	1,101,000円
県下の乳幼児教育・保育振興の中核機関としての幼児教育センターへの運営費負担金	
・三重県特殊教育振興会等	293,880円
〔一般経費〕	6,722,726円

〔成果〕

多様な教育課題に対応するため、各種の事業を実施しました。なかでも、平成14年度から実施される新しい教育課程に対応できるよう教育課程検討委員会を設置し、小中学校へ啓発を行いました。さらに、児童生徒の豊かな人間性をはぐくむため、多様な体験活動を実施するとともに、子どもたちを取り巻く様々な問題の解決に取り組む中学校単位地域すこやか協力者会議を開催しました。また、私立学校等への運営費補助なども継続して実施し、私学振興に寄与しました。

目4 教育・視聴覚センター費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
190,351,000円	181,890,878円		8,460,122円

新しい教育課題への研究と学校への支援事業を行うため、教育実践に役立つ幅広い研修や教育相談等各種事業を実施しました。また、教育情報機器等の更新を行い、情報教育推進に努めました。

〔教育センター嘱託研究事業費〕	3,967,920円
嘱託研究校園による研究では、市内の幼稚園、小学校から応募のあった7校園が、嘱託奨励研究においては、市内の幼稚園、小中学校から応募のあった14の個人やグループが、それぞれ今日的な教育課題の実践的研究を行いました。	
〔教育センター事業費〕	17,687,334円
・教職員研修費	8,464,472円（県支出金 50,000円）
学習指導、生徒指導、同和教育、情報教育等を教育課題とした95講座（延べ167日）の教職員研	

修会には、延べ 5,490人の参加。また、幼稚園グループ研修会（16回、220人）や先進校園への派遣研修（26人）を行い、それらの報告書を発行

・教育相談事業費 4,540,475円

心身の発達や行動等に課題をもつ子どもの保護者や校園の要請に応じ相談活動を実施

新規相談件数	相談延回数	訪問相談件数
151 件	2,052 回	4 件

・教材開発普及費 617,325円（県支出金 276,337円）

教材ビデオとして①総合的学習「移行期の総合的学習の時間」②中学校英語科「授業で使える生き生きビデオ～イギリス編」③生涯学習「伊坂ダムを歩こう～自然豊かな散歩道」のビデオ教材を制作し、各小中学校や地区市民センターへ配布

・教育課題等研究調査費 4,065,062円

国立教育研究所研究部長の指導のもと「総合的な学習の時間」に向けた単元開発に関する研究等4課題の教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配布

[教育情報通信システム運営費] 144,237,225円（県支出金 5,590,663円）

小学校コンピュータを各校7台導入し、機器の更新を行うなど教育情報通信システムを再構築しました。また、インターネットを全中学校で開始しました。

[視聴覚ライブラリー事業費] 4,895,239円（その他特財 1,540,000円）

生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、ビデオフィルムや16ミリフィルム等の視聴覚機材・機器の整備を行いました。

区 分	保 有 数		利 用 状 況			
	購 入 数	保有総数	学校教育	社会教育	そ の 他	計
16ミリフィルム	10	1,199	153	164	6	323
ビデオフィルム	29	853	213	163	86	462

区 分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	2	25	76
ビデオプロジェクター	3	81	248
スライド映写機	2	23	82

[視聴覚センター事業費] 1,189,790円（県支出金 150,000円）

生涯学習施設としてビデオやパソコンを活用した教室、講座等を開催しました。

[適応指導教室事業費] 4,658,517円（その他特財 418,600円）

不登校児童生徒の社会性や協調性を養い、集団適応能力を高め学校復帰をめざして体験活動、制作活動及び学習を行いました。

開級日数	通級生 38 人				
	復 帰	進 学	再相談	再入級	その他
201 日	14 人	7 人	6 人	8 人	3 人

[不登校児童生徒支援ボランティア事業費] 460,675円

家庭に閉じこもっている児童生徒に対して、学生ボランティア26人が話し相手や遊び相手になり、自立に向けての支援活動を行いました。

家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰
8件	70回	1人

体験活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
卓球、テニス ソフトボール 魚釣り、栽培 宿泊体験等	34人	21回

〔不登校児童生徒適応指導総合調査研究委託事業費〕

750,000円（県支出金 750,000円）

不登校状態が継続している児童生徒に対し、教科指導、個別カウンセリング、集団活動など継続的な適応指導の在り方に関する調査研究を行いました。

〔負担金〕

1,183,500円

・三泗教育研究協議会

1,100,000円

・全国教育研究所連盟等

83,500円

〔一般経費〕

2,860,678円（その他特財 1,666,940円）

〔成果〕

新しい教育課題としての「総合的な学習の時間」に係わる研究を行うとともに、「総合的な学習の時間」についての理解や実践を中心とした研修講座を増やすなど、時代に即応した研究、研修の取り組みにより、学校への支援体制の充実と教職員の資質向上に寄与しました。

また、小中学校のコンピュータを最新型へ更新を図るとともに、全中学校でインターネットも開始するなど、新しい情報化社会に対応するための教育機器の充実を図りました。

さらに、精神科医を1人増員し教育相談の充実を図るとともに、どこの機関にもかかっていない不登校児童生徒の家庭に、希望により話し相手・遊び相手となる大学生ボランティアを派遣し、不登校児童生徒の自立への支援を行いました。

項2 小学校費

目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,956,146,000円	1,920,094,412円		36,051,588円

本市の小学校は39校で、学級数は619学級（うち障害児学級55学級）、児童数17,949人（うち障害児学級128人）であり、前年度に比べて学級数で8学級の減（うち障害児学級は3学級増）、児童数で373人の減となり、障害児学級を除いて1校平均14.5学級、1学級平均31.6人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

〔非常勤職員報酬〕

44,662,390円

・校医 44人

23,113,830円

・歯科医 44人

17,753,560円

・薬剤師 39人

3,795,000円

〔一般職給〕 109人

888,274,329円

〔嘱託職給〕 13人

35,527,424円

〔学校管理運営費〕

439,138,734円

・一般管理運営費

〔学校保健衛生管理費〕

57,555,827円

・児童健康診断費

41,113,134円

学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等児童の定期健康診断や就学時の内科・歯科検診を実施したほか、健康増進事業の一つとして眼科・耳鼻科の専門医検診を実施

・教職員健康診断費

9,881,309円

学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施

・一般管理運営費

6,561,384円

〔学校給食管理運営費〕	54,825,647円		
・四日市市学校給食協会補助金	5,900,000円		
学校給食物資の安定供給とともに、保護者負担の軽減をはかるため設立された同協会に対し補助金を交付			
・給食従事者健康診断費	1,634,049円		
集団給食の衛生面での安全を図り、併せて給食従事者の健康管理を図るため、O-157対策を含めた検便を実施			
・一般管理運営費	47,291,598円		
〔学校管理備品整備費〕	29,673,705円		
・一般備品	18,741,989円		
・一般保健室備品	1,386,168円		
・一般給食備品	9,545,548円		
うちO-157関係	673,050円		
〔負担金〕	20,120,100円		
・学校災害賠償補償保険料	1,680,127円		
・日本体育学校健康センター共済掛金	15,439,800円	(その他特財	7,079,820円)
・三重県学校保健会	269,235円		
・全国連合小学校長会等	2,730,938円		
〔学校管理運営費〕	350,316,256円		
・一般管理運営費	17,694,021円		
学校用地借地料			
・施設維持管理費	95,478,789円	(その他特財	68,165円)
・施設補修費	237,143,446円		

目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
295,778,000円	283,462,292円		12,315,708円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人ひとりの児童に応じた各種事業に取り組みました。また、各小学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

〔学校体育振興事業費〕	286,724円
学校体育を振興して児童の体力向上及び運動に親しむ態度を育成するため、小学校陸上記録会、みんなでチャレンジ、学校体育研修会を開催するとともに学校体育推進協力校1校を指定しました。	
〔自然教室事業費〕	8,095,055円
市内小学校5年生を対象に実施	

実施場所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家	39校	3,111人	1泊2日

〔教材・教具整備費〕	65,351,038円		
・一般教材・教具	57,068,302円		
・理科教育振興備品	8,282,736円	(国庫支出金	2,890,000円)
〔教育方法開発特別設備費〕	3,337,950円		
〔障害児学級費〕	44,621,661円		
・児童介助費	42,720,024円		
多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(22校41人)を配置し、教育効果をあげました。			
・一般教材備品費	1,901,637円	(国庫支出金	907,000円)
既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新增設に伴う備品			
〔就学奨励費〕	72,014,747円		
・要保護準要保護児童就学援助費	68,849,583円	(国庫支出金	22,767,384円)
経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助			

- ・障害児教育就学奨励費 3,165,164円 (国庫支出金 1,416,415円)
障害児学級への就学の特殊事情を考慮し、保護者の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助
- [学校図書館図書整備事業費] 31,246,625円
- [学校同和教育事業費] 1,280,117円
- ・特別就学奨励費
同和地区児童の就学を奨励することを目的とし、児童71人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給
- [一般経費] 57,228,375円

[成 果]

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい児童同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、教材・教具などの整備を図るとともに、障害児の適正な就学を促すため、さらなる学習環境の充実を図りました。

目 3 学校建設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
510,551,000円	504,772,086円		5,778,914円

本年度の重点施策として老朽校舎の改築をはじめ、バリアフリー化、給食室改修事業を継続して行うとともに、既設校舎の耐震補強整備として診断調査・補強設計などを実施しました。

[校舎建設事業費] 361,444,050円

- ・浜田小学校改築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
運動場整備	24,406,200		

- ・中部西小学校改築事業費

事 業 内 容	実 施 額	う ち 特 定 財 源	
解体、文化財調査 鉄筋コンクリート造3階建 4,281㎡、普通教室14室、 図書室、情報室、情報・書架・コンピュータスペース ランチルーム、管理諸室、既設校舎改修、外構、工事 監理委託(平成11・12年度債務負担事業) 仮設校舎リース(平成10～13年度債務負担事業)	337,037,850	国庫支出金 市 債	77,289,000 125,800,000

[施設整備事業費] 96,737,881円

- ・バリアフリー化施設整備費

事 業 内 容	施 工 箇 所	実 施 額	う ち 特 定 財 源
障害者用トイレ設置、便器改修 (和式→洋式)、廊下・階段手摺 設置、シャワーコーナー設置、出 入口スロープ設置 外	内 部 小 学 校 笹 川 西 小 学 校 保 々 小 学 校	22,787,100	

・給食室改修費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
内部改修（間仕切・床排水・天井壁）、食品倉庫等増築、空調設備設置外	大矢知興讓小学校 笹川東小学校	46,257,750	国庫支出金	2,333,000

・その他施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
プール水槽塗装、シャワー室設置 教室間仕切改修外	富田小学校外	27,693,031		

〔校舎等譲受費〕 15,261,350円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
昭和54～平成16年度債務負担事業	笹川東小学校	1,230,740		
昭和58～平成20年度債務負担事業	笹川西小学校	14,030,610		

〔校舎耐力度調査費〕 18,723,600円

・校舎耐力度調査費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
鉄筋コンクリート造耐力度調査 昭和30年代建設校舎	富田小学校 外5校	2,648,100		

・耐震診断調査費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査、耐震補強設計 教室棟・管理棟	海蔵小学校 外2校	11,161,500		

・耐震診断調査費（緊急雇用対策）

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟	常磐小学校 外2校	4,914,000	県支出金	4,914,000

〔事業事務費〕 12,605,205円

- ・一般職給 1人 7,991,000円
- ・その他事務費 4,614,205円

〔成果〕

中部西小学校の改築に着手するとともに、海蔵小学校などで耐震診断調査及び補強設計を実施し、学習環境の向上と安全性の確保に努めました。

また、学校給食環境整備のため大矢知興讓小学校などで給食室改修工事を行い、調理場の衛生管理強化を図るとともに、円滑な学校生活のため保々小学校などでバリアフリー化工事を実施し、障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項 3 中学校費
目 1 学校管理費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
634,626,000円	625,204,773円		9,421,227円

本市の中学校は21校で、学級数は 286学級（うち障害児学級25学級）、生徒数 9,106人（うち障害児学級44人）であり、前年度に比べて学級数で1学級の減（うち障害児学級は4学級増）、生徒数で292人の減となり、障害児学級を除いて1校平均12.4学級、1学級平均34.7人となっています。

また、教育環境保持のため、校舎等施設の適正な維持管理に努めました。

〔非常勤職員報酬〕	22,544,660円		
・校医 23人	11,253,020円		
・歯科医 23人	9,158,640円		
・薬剤師 21人	2,133,000円		
〔一般職給〕 15人	120,507,136円		
〔嘱託職給〕 6人	17,663,037円		
〔学校管理運営費〕	197,935,446円		
・一般管理運営費			
〔学校保健衛生管理費〕	30,051,091円		
・生徒健康診断費	21,117,668円		
学校保健法に基づき、心臓・検便・検尿等生徒の定期健康診断を実施したほか、健康増進事業の一つとして、眼科・耳鼻科の専門医検診を実施			
・教職員健康診断費	5,857,980円		
学校保健法に基づき、教職員の健康管理を維持するため、胃検診・結核間接・血液検査・B型肝炎等の諸検査を実施			
・一般管理運営費	3,075,443円		
〔学校給食管理運営費〕	4,620円		
〔学校管理備品整備費〕	17,868,574円		
・一般備品	17,097,391円		
・一般保健室備品	771,183円		
〔負担金〕	10,704,592円		
・学校災害賠償補償保険料	861,797円		
・日本体育学校健康センター共済掛金	7,923,305円	(その他特財 3,597,540円)	
・三重県学校保健会	136,590円		
・全日本中学校長会等	1,782,900円		
〔学校管理運営費〕	207,925,617円		
・一般管理運営費	11,171,241円		
学校用地借地料			
・施設維持管理費	53,564,749円	(その他特財 750円)	
・施設補修費	143,189,627円		

目 2 教育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
208,398,000円	199,878,368円		8,519,632円

豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための基礎となる力を培うために、一人ひとりの生徒に応じた各種事業に取り組みました。また、教育課程の充実、生活指導の強化など、学校教育の努力目標を達成するため、各中学校の教授用諸経費並びに教材教具の整備充実に努めました。

〔障害児学級費〕	357,120円		
・連合合宿費			
学校や家庭を離れ、自然の中で教師と生徒が生活を共にすることにより、将来の社会生活に向けた自立の基礎を培いました。			
〔自然教室事業費〕	10,566,271円		
市内中学校2年生を対象に実施			

実施場所	実施校	参加人数	実施日数
四日市市少年自然の家	19校	2,532人	2泊3日
鈴鹿青少年センター	2校	492人	2泊3日

〔中学生サミット推進事業費〕	235,567円		
生徒会活動の活性化と生徒会リーダー育成をねらいとして、市内中学校21校から生徒4人と生徒会顧問1人を参加させ、研修会を開催しました。			
〔教材・教具整備費〕	45,626,989円		
・一般教材・教具	40,388,939円		
・理科教育振興備品	5,238,050円	(国庫支出金 1,834,000円)	
〔障害児学級費〕	14,554,277円		
・生徒介助費	11,339,250円		
多動性の情緒障害児及び肢体不自由児をもつ障害児学級に介助員(5校9人)を配置し、教育効果をあげました。			
・一般教材備品費	3,215,027円	(国庫支出金 1,360,000円)	
既存の障害児学級の一般備品及び障害児学級の新増設にともなう備品			
〔部活動指導委託費〕	5,193,740円		
学校管理下における教育課程外の教育活動である部活動(文化部・体育部)を円滑かつ積極的に推進するため、指導委託を行いました。			
〔就学奨励費〕	31,575,896円		
・要保護準要保護生徒就学援助費	30,034,400円	(国庫支出金 9,137,616円)	
経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品・入学準備金・給食費・通学費等を援助			
・障害児教育就学奨励費	1,541,496円	(国庫支出金 678,585円)	
障害児学級への就学の特殊事情を考慮し、保護者の経済的負担を軽減するため、その必要経費の一部を補助			
〔学校図書館図書整備事業費〕	18,098,652円		
〔学校同和教育事業費〕	2,508,170円		
・人権教育推進事業費	922,800円		
人権学習用副読本「なかま」購入			
・特別就学奨励費	1,585,370円		
同和地区生徒の就学を奨励することを目的とし、生徒38人に学用品、通学用品費、修学旅行費、校外活動費を支給			
〔一般経費〕	71,161,686円		

〔成果〕

自然教室事業では、日頃の学校生活では得がたい生徒同士の交流や、自然とのふれあいを通して貴重な体験を積むことができました。また、中学生サミット推進事業では、いろいろな学校の実践を参考にし、生徒会活動の活性化に役立ちました。また、教材・教具などの整備を図るとともに、障害児の適正な就学を促すため、さらなる学習環境の充実を図りました。

目3 学校建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,502,000円	63,994,675円		507,325円

バリアフリー化事業を継続して行うとともに、既設校舎の耐震補強整備として診断調査・補強設計などを実施しました。

〔施設整備事業費〕 26,035,800円

・バリアフリー化施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
障害者用トイレ設置、階段手摺設置、車寄せ・出入口スロープ設置外	西笹川中学校 西朝明中学校	16,923,900		

・その他施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
防球ネット設置、バスケットコート整備工事外	西陵中学校 西朝明中学校 外	9,111,900		

〔校舎等譲受費〕 11,244,900円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
昭和49～平成21年度債務負担事業	西笹川中学校	11,244,900		

〔校舎耐力度調査費〕 16,821,000円

・校舎耐力度調査費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
鉄筋コンクリート造耐力度調査 昭和30年代建設校舎	橋北中学校 外3校	2,824,500		

・耐震診断調査費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査、耐震補強設計 教室棟・管理棟	山手中学校 富田中学校	11,035,500		

・耐震診断調査費（緊急雇用対策）

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
耐震診断調査 教室棟・管理棟	笹川中学校 保々中学校	2,961,000	県支出金	2,961,000

〔事業事務費〕 9,892,975円

・一般職給 1人 7,955,000円
・その他事務費 1,937,975円

〔成果〕

安全性を高めるための取り組みとして、山手中学校などで耐震診断調査及び補強設計を行うとともに、円滑な学校生活のため西朝明中学校などでバリアフリー化工事を実施し、障害者と健常者が共に学べる環境整備を進めました。

項 4 幼稚園費
目 1 幼稚園費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
1,005,928,000円	997,329,058円		8,598,942円

本市の幼稚園は22園で、学級数は57学級、園児数 1,467人であり、前年度に比べ学級数で4学級減少し園児数で27人の減となり、1園平均 2.6学級、1学級平均25.7人となっています。なお、文部省の「幼稚園教育振興計画要項」に基づき、公立幼稚園における3歳児保育の基礎的・基本的条件を把握するため、下野幼稚園（1学級25人）で3歳児保育を試行しました。

また、教育環境保持のため、園舎等施設の適正な維持管理・整備に努めました。

なお、幼稚園使用料 120,957,000円を本年度収入しました。

〔非常勤職員報酬〕	12,804,370円	
・園医 22人	5,910,890円	
・歯科医 22人	5,573,480円	
・薬剤師 22人	1,320,000円	
〔一般職給〕 80人	587,116,745円	（その他特財 1,669,833円）
〔嘱託職給〕 26人	97,906,980円	
〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕	120,268,030円	（国庫支出金 37,263,000円）

私立幼稚園に就園する園児の保護者に対して次の区分により保育料の補助を行いました。

補助対象者 2,025人

平成11年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者
非課税世帯 （生活保護世帯を含む）	133,000円	78人
所得割非課税世帯	101,200円	71人
所得割課税の額が 8,800円以下の世帯	78,100円	80人
所得割非課税世帯 102,100円以下の世帯	54,900円	1,796人

〔少子化対策子育て支援事業費〕 5,924,730円（国庫支出金 5,924,730円）
子育て支援事業として、組立式簡易プール（11園）と液晶ビデオプロジェクター（7台）を購入しました。

〔園管理運営費〕 93,889,413円（国庫支出金 148,000円）

・一般管理運営費

〔園保健衛生管理費〕 922,217円

・園児健康診断費 564,998円

学校保健法に基づき内科・歯科の健康診断を実施

・一般管理運営費 357,219円

〔園管理備品整備費〕 4,233,185円

幼稚園の保育用教材及び教具の充実を図りました。

〔教材・教具整備費〕 2,505,802円

〔教育振興一般経費〕 18,364,550円

幼稚園の教育の振興を図るため、卒園記念品・保育用消耗品を購入しました。

〔幼稚園研究大会運営経費〕 102,900円

〔負担金〕 916,082円

・学校災害賠償補償保険料 137,000円

・日本体育学校健康センター共済掛金 433,545円（その他特財 191,070円）

・全国国公立幼稚園長会等 345,537円

〔園管理運営費〕 32,400,094円

・一般管理運営費 63,990円

幼稚園用地借地料

- ・施設維持管理費 7,884,993円
- ・施設補修費 24,451,111円

[少子化対策子育て支援事業費] 5,197,500円 (国庫支出金 5,197,500円)

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
遊具設置	三重西幼稚園外	5,197,500	国庫支出金	5,197,500

[施設整備事業費] 13,416,900円

- ・園舎等整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
園舎改修、テラス雨避け設置	高花平幼稚園 神前幼稚園	7,313,250		

- ・その他施設整備費

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
職員室用空調設備、火災報知機型式改修	川島幼稚園外	6,103,650		

[園舎等譲受費] 286,620円

事業内容	施工箇所	実施額	うち特定財源	
昭和54～平成11年度債務負担事業	笹川中央幼稚園	286,620		

[学校同和教育事業費] 1,072,940円

- ・指導体制充実事業費

幼稚園教員の資質向上を図るため、三重県解放保育研究集会等各種研修会へ延べ82人参加

[成果]

教材・教具及び管理備品の整備により、さらなる学習環境の充実を図りました。また、園舎等施設の維持管理上必要な補修工事等を行い、施設の安全性、機能性の維持を図る環境整備を進めました。また、少子化対策子育て支援事業として遊具・備品の充実を図り、安心して子どもを生き育てられる環境づくりを進めました。

項5 社会教育費

目1 社会教育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,286,411,000円	1,267,443,301円		18,967,699円

市民の幅広い学習要求に応えるとともに、現代的な視点も踏まえ、市民大学を一般クラスと熟年クラスに分け、市民の生涯学習の場として充実を図っています。また、市民の学習活動の場の整備に努めるとともに、社会教育関係団体の活性化と指導者の育成に努めました。

[非常勤職員報酬] 20,927,891円

- ・社会教育(地域社会づくり)指導員 12人

〔一般職給〕	85人	853,866,018円	
〔嘱託職給〕	27人	109,457,580円	(県支出金 2,480,000円)
〔委員報酬〕		307,100円	
・社会教育委員	12人		
〔社会教育指導者研修費〕		860,312円	
			社会教育委員、社会教育推進員、地域社会づくり担当職員等の研修
〔生涯学習振興事業費〕		10,613,463円	
・市民大学経費		8,751,800円	{ 国庫支出金 2,500,000円 その他特財 3,769,000円 }

一般クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期 間 ・ 場 所
A	「あなたのための博学ゼミナール」	8	161	} 11.7.23 ~ 11.12.13 市文化会館
B	「豊かな時間を生きる」	6	74	
C	「そこが知りたい日本経済」	5	59	
D	「カウンセリング基礎講座」	10	54	
E	「人権って何？」	8	45	
F	「四日市学」	10	53	
G	「環境情報とインターネット」	5	77	

閉講式 講師 常田富士男 俳優・声優

熟年クラス	講 座 内 容	回数	受講者数	期 間 ・ 場 所
教 養 課 程	郷土、健康、人権等に関する講義、 クラブ活動、社会見学、文化祭等	27	132	11.6.2~12.2.25 市総合会館・中部地区 区市民センター
専 攻 課 程	生き方、古典文学・芸能、人権、ボ ランティア等に関する講義、クラブ 活動、社会見学、文化祭等	27	115	

入学式 講師 足立秀夫 大須演芸場席亭
 修了式 講師 森 孝子 劇団市民座代表・俳優
 ・生涯学習推進事業費 1,861,663円
 生涯学習ガイドブック(地区市民センター事業実践事例集)
 158,812円

全国生涯学習フェスティバル調査・準備費
 1,702,851円

〔なや学習センター整備事業〕 77,374,500円

自主学習グループ・サークル、市民活動団体に活動の場として整備、供用を開始しました。

〔なや学習センター維持管理費〕 7,352,244円 (その他特財 76,860円)

〔成人の日行事開催費〕 5,668,907円

新成人約3600人を対象に、平成12年1月10日四日市ドームで、成人の日実行委員会企画による「記念式典」並びにアトラクションとして四日市出身新成人のプロロックバンドのコンサートを、また勤労青少年ホーム利用者連絡協議会メンバーの企画による「お茶席」、「写真撮影」を行いました。

〔各種団体活動費〕 437,000円

・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金等 257,000円

・四日市市婦人会連絡協議会運営費補助金等 180,000円

〔青年海外派遣事業費補助金〕 240,000円

近畿2府7県の主催する近畿青年洋上大学に本市在住・在勤の青年を派遣しました。

〔負担金〕 639,008円

・三重県社会教育関係団体指導者賠償責任保険料

579,008円

・三重県社会教育委員連絡協議会等

60,000円

〔成 果〕

市民大学は市民の多様な学習要求に応えるとともに、社会的課題の解決に向けて学習機会を提供しています。本年度一般クラスは、「あなたのための博学ゼミナール」「カウンセリング」への応募が定員を超える盛況ぶりとなりました。また、地域について学ぶ「四日市学」、子どもの人権を考える「人権って何？」など、小クラスで参加者同志の交流を図りながら、学習を深めることができました。

熟年クラスについても教養課程 120人の定員に対して 151人の応募があり、高年齢の生涯学習への関心の高さを示しています。教養を高めるとともに、クラブ活動などをもとに地域での活動を広げるなど社会参加も図っています。

〔委員報酬〕	203,640円	
・文化財保護審議会委員 14人		
〔文化財維持管理事業費〕	5,885,470円	
〔埋蔵文化財整理作業所整備事業費〕	3,190,698円	
急増している埋蔵文化財調査に対応できる施設の改善を図りました。		
〔遺跡管理システム開発事業費（緊急雇用対策）〕	11,025,000円	（県支出金 11,025,000円）
遺跡GIS（地理情報システム）を開発		
〔埋蔵文化財保護事業費〕	8,615,116円	
・埋蔵文化財保護事業費	5,841,368円	
開発行為にともなう遺跡の発掘調査（分布・立ち会い・試掘計40箇所）及び資料の復元作業		
7/29～8/31 発掘展開催（博物館、観覧者 2,200人）		
・埋蔵文化財発掘調査事業費	2,773,748円	
中部西小学校改築にともない、北町所在の四日市代官所跡を発掘調査。9月に現地説明会を開催（300人参加）、発掘展開催期間中には代官所跡週間速報コーナーを設置		
〔埋蔵文化財発掘調査受託事業費〕	71,269,653円	
・一般職給 4人	28,545,454円	（その他特財 28,545,454円）
・発掘調査費	30,192,199円	（その他特財 30,192,199円）
平成8年度から13年度まで、建設省の受託事業として国道1号線北勢バイパス建設に伴う埋蔵文化財の調査（山奥遺跡発掘・久留倍遺跡発掘・四反田遺跡試掘・久留部遺跡試掘）なお、山奥遺跡については12月に現地説明会開催（130人参加）		
・埋蔵文化財民間開発調査委託事業	12,532,000円	（その他特財 12,532,000円）
中部電力南四日市変電所の建設工事にともない、貝家町字山川の山川遺跡を発掘調査。10月に現地説明会を開催（130人参加）		
〔文化財保存対策事業費〕	6,929,709円	
・御池沼沢植物群落保存対策調査事業費	169,902円	
検討委員会を開催し、今後の保存対策について検討		
・歴史的建造物調査事業費	630,000円	
・指定文化財保存事業費補助金等	6,129,807円	
「県指定有形民俗文化財大入道山車」収蔵庫の老朽化が激しく、また、収蔵庫の耐震・耐火性能の向上のために平成11年度から2カ年継続で改修をしているので、県とともに補助金を交付		
また、市指定無形民俗文化財「大念仏」に使用する鉦が割れたために、その新調について補助金を交付		
〔丹羽文雄記念館調査研究費〕	2,153,567円	

〔成 果〕

市民にかけがえのない文化遺産の保護を図るために、埋蔵文化財の保護については、開発行為にともなう発掘調査に適切に対応し、その一端を紹介するために「発掘展」を開催しました。（仮称）丹羽文雄記念館については、専門家を含めた調査委員会を設置し、報告書を作成するとともに美術品等の評価を行いました。

〔社会同和教育事業費〕	39,928,108円	
市民的権利・自由の侵害である部落差別の解消のため、「人権を考える月間講演会」などの教育・啓発事業を行いました。また、教育集会所活動においては、同和地区住民の社会的・経済的・文化的向上に資するため、各種講座や生活指導・学習指導・相談事業を行いました。		
・啓発活動事業費	11,156,002円	
一般啓発事業	5,976,002円	（県支出金 4,348,000円）
同和教育資料の作成、「人権を考える月間講演会」の開催及び同和問題連続講座の開催		
住民組織啓発事業	5,180,000円	
22地区同和教育推進協議会に対して同和教育推進業務の委託		
・学習活動促進事業費	7,006,254円	（県支出金 2,360,000円）
市民会館、教育集会所における各種教養講座の開設、神前柔道教室、天白卓球教室、高齢者いきいき講座の運営委託		

・住民学習施設整備事業費	1,678,320円	
赤堀教育集会所パラペット補修工事等		
・指導体制充実事業費	3,717,532円	
職員の外部研修（三重県同和教育研究大会等研修に延べ304人参加）、図書、啓発ビデオの購入により指導体制を充実		
・進路保障事業費	16,370,000円	
生活指導事業	6,934,000円	
家庭訪問等校外における生活指導		
学習指導事業	8,361,000円	
学習意欲、基礎学力向上のための学習指導		
夏期特別指導事業	1,075,000円	
夏休みを利用して、学習会、野外活動等を行い集団の中で、学び力をつけました。		
〔社会同和教育学習活動促進費補助金〕	6,191,320円	
・地区住民派遣補助金	1,026,320円	
・集会所運営委員会補助金	510,000円	
・各種団体運営費補助金	4,655,000円	
〔一般経費〕	24,306,997円	

〔成 果〕

事業の継続により、自主自立に向けた地区内の各種団体等の計画的な取り組みや教養講座の自主的な運営が行われています。また、同和問題解消に取り組む住民組織としての同推協活動については、住民自らの手による一層効果的な活動をめざす取り組みが行われています。

目 2 文化振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
454,680,000円	439,826,364円		14,853,636円

心の豊かさを求める時代の中で魅力的な文化環境を整備し、文化行政に対する市民要望に応えるために市民自らの創作活動の場の提供や芸術文化の鑑賞の機会の充実を図るために各種の施策を実施しました。

〔文化事業開催費〕	12,232,152円	
・美術展覧会	3,061,946円	
10月14日から18日まで文化会館展示室及び第4ホールで開催		
日本画・洋画・彫塑・工芸・写真・書道6部門、作品数618点、入賞作品84点、観覧者数4,290人		
・市民文化祭等	5,100,000円	
5月30日から12年3月5日にかけて文化会館を中心に開催。伝統芸能、舞台発表、作品展示等文芸発表等の多彩な催しを開催（入場者数13,800人）なお、9月25・26日に第34回四日市市北部地区秋の文化祭をあさけプラザにおいて開催し、展示や舞台等の多彩な催しを実施		
・芸術鑑賞会等	3,078,960円	
8月27日総合劇集団俳優館「やっかいなおくりもの」（文化会館第2ホール）入場者数1,219人		
11月18日劇団一跡二跳「醜形恐怖」（文化会館第2ホール）596人		
三泗子ども劇場を共催し、12月26日劇団一跡二跳「夏の夜の猿」を開催		
・みえ県民文化祭共催事業費	504,000円	
第5回みえ県民文化祭の部門別フェスティバルとして平成11年10月24日に文化会館第1ホールにおいて「三曲演奏会」を開催（入場者数1,600人）		
・都市間文化ネットワーク開催事業費	200,000円	
名古屋・豊橋・浜松・岐阜・四日市の5都市で構成する都市間ネットワーク研究会の文化事業「勝手おどり」を岐阜市で10月3日に実施し、「大四日市まつり」のおどりフェスタ入賞団体「ビューティートレーニングクラブ」が参加。また、9月～2月にかけて「舞台芸術ワークショップ」を文化行政担当者を対象に実施		
・茶室活用事業		
茶室泗翠庵の多角的な活用方法を普及するため、平成12年1月16日と3月4日に歌会を開催（参加者延べ92人）		
〔文化振興育成事業費〕	19,774,428円	
・文化振興基金積立金	2,267円	（その他特財 2,267円）
文化振興基金（昭和60年3月設置 本年度末現在高 205,797,415円）		
・文化功労者表彰経費	180,161円	

学術・芸術その他文化振興に多大な貢献をした3人の方々の栄誉を讃え、功績を顕彰するため表彰式を11月3日に博物館エントランスホールで行い、四日市交響楽団チェロアンサンブルのミニコンサートも併せて実施

- ・文化振興財団自主事業費補助金 16,000,000円
- ・文化活動団体育成事業費等 3,592,000円 (その他特財 1,158,913円)

市内の文化団体の指導者や代表者に対して文化活動に対する姿勢や考え方を再認識する機会を提供するための研修会(「文化って何やる」)を開催

- [施設管理運営費] 335,317,656円
 - ・文化会館・茶室委託管理費 310,491,334円 (その他特財 105,019,946円)
 - ・一般経費 24,826,322円
- [文化会館施設整備事業] 71,890,000円

事業内容	実施額	うち特定財源	
第2ホール照明設備改修 (平成11・12年度債務負担事業)	71,890,000円	市債	51,300,000円

- [少子化対策整備費] 472,500円 (国庫支出金 472,500円)

館内にベビーシート3台を設置し、乳児連れ来館者が安心して利用できる施設環境づくりを進めました。

- [一般経費] 139,628円

文化会館施設利用状況

施設名	開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率 B/A×100
第1ホール	262日	191日	164件	72.9%
第2ホール	244	214	196	87.7
第3ホール	315	287	419	91.1
第4ホール	315	299	612	94.9
第1展示室	317	230	108	72.6
第3展示室	317	238	95	75.1
第4展示室	316	205	70	64.9
第1会議室	316	242	295	76.6
第2会議室	316	312	620	98.7
第3会議室	316	308	588	97.5
和会議室	315	275	490	87.3
第1リハーサル室	317	303	529	95.6
第2リハーサル室	317	310	630	97.8
第1練習室	317	271	387	85.5
第2練習室	316	298	572	94.3
第3練習室	317	288	469	90.9

催物

区分	洋楽	邦楽	歌謡	軽音楽	洋舞	日舞	演劇	演芸	芸能	映画	講演	式典	複合	その他
第1ホール	13	5	12	15	6	6	22	5	4	7	22	22	13	7

第2ホール	24	3	5	23	8	8	15	6	0	13	44	14	16	8
-------	----	---	---	----	---	---	----	---	---	----	----	----	----	---

茶室「泗翠庵」(施設別利用状況)

区 分	広間及び次の間	小 間	計	利用人員	立礼席利用人員	使用料収入
利用件数(件) A	61	40	101	延 3,934人	延 6,426人	657,090円
利用日数(日) B	78	42	—			
開館日数(日) C	307	307	—			
利用率(%) B / C	25.4	13.7	—			

目3 青少年教育費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
57,885,000円	56,971,010円		913,990円

地域や家庭など子どもを取り巻く育成環境の充実が求められるなか、留守家庭児童対策としての学童保育所補助事業や、子どもの遊び場を提供する子ども広場整備事業などを通して、時代に即した育成環境の充実を図りました。

〔委員報酬〕	265,600円		
・青少年問題協議会委員 16人	83,000円		
・少年センター運営協議会委員 16人	182,600円		
〔家庭教育振興事業費〕	2,299,650円		
・家庭教育講演会開催費	659,650円		
・家庭教育講座委託事業等	1,640,000円		
〔青少年相談事業費〕	670,215円		
〔青少年育成研修費〕	2,094,546円		
ジュニア・サブリーダー養成事業	854,768円		
県外体験学習事業	1,138,318円		
青少年指導者合同研修会	101,460円		
〔青少年健全育成事業費〕	34,261,551円		
・優良少年団体表彰経費	8,662円		
・子ども緊急避難所設置推進事業費	1,060,449円		
・青少年育成地域交流事業費	102,690円		
・学童保育事業費補助金	23,895,000円		
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県対象児童 348人			
・青少年健全育成施設整備費補助金	9,137,000円		
新設1カ所・補修49カ所・増設1カ所・危険防止1カ所			
・青少年健全育成強調月間事業費	57,750円		
〔少子化対策学童保育事業補助金〕	3,900,000円	(国庫支出金 3,900,000円)	
安心して子育てできる環境づくりを進めるため、13学童保育所に対して補助を実施しました。			
〔補助金〕	7,965,000円		
・四日市市子供育成者連絡協議会	2,700,000円		
・四日市市青少年育成市民会議	1,755,000円		
・地区青少年育成推進団体	3,150,000円		
・四日市海洋少年団	180,000円		
・B・S、G・S四日市地区協議会等	180,000円		
〔負担金〕	121,000円		
・三泗地区広域補導協議会等	100,000円		
・三重県青少年補導センター連絡協議会等	21,000円		
〔一般経費〕	5,393,448円	(県支出金 534,000円)	

青少年の補導状況

補 導 少 年 延 人 数					少 年 相 談 件 数		
小学生	中学生	高校生	その他	計	面 接	電 話	計
130人 (10.9%)	401人 (33.5%)	435人 (36.3%)	231人 (19.3%)	1,197人 (100%)	10 件	75 件	85 件

〔成 果〕

心豊かでたくましい青少年の育成を主眼として、青少年育成団体への活動支援と同時に育成者・指導者の養成に努めました。また、人格形成の根幹である家庭教育の推進を図るとともに非行防止のための啓発活動をはじめ、問題行動の未然防止や早期発見、さらには本人・保護者からの相談活動に努めました。環境浄化活動については、青少年に有害な図書自販機の調査、電話ボックス内の有害広告物の撤去等を実施しました。

目 4 公民館費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
20,801,000円	18,845,363円		1,955,637円

地域における社会教育活動は、地域社会づくり及び生涯学習推進の視点から、23の地区市民センターを拠点として、住民の暮らしや地域に根ざした学習と併せて、地域における関係団体の育成を図り、よりよい地域社会づくりに努めました。

〔生涯学習振興事業費〕

15,033,544円

地区市民センター事業活動状況

講座実施状況

講座(対象)	回数	参加人数
青少年	164	8,702
女 性	86	1,665
成 人	316	11,613
高齢者	96	5,060
リーダー研修	19	619
全 住 民	78	3,341
合 計	759	31,000

施設利用状況

活動内容	回 数	参加人数
地区市民センター主催事業(講座)	759	31,000
サークル活動	21,410	287,027
団体活動	1	1,809
団体活動	2	161
地域振興活動	3	863
合 計	25,002	602,121

1-社協、同推協、婦人会、老人クラブなど

2-民生委員会

3-自治会、地域社会づくり推進委員会

1,322,721円

1,316,721円

6,000円

248,600円

〔学校開放事業費〕

学校開放鍵管理補助

学校開放運営委託料

〔負担金〕

・三重県公民館連絡協議会等

〔一般経費〕

2,240,498円

〔成 果〕

生活課題や地域課題に基づいた学習機会の提供など、多様な学習機会の提供により、地域住民の生涯学習の推進および地域社会づくり活動の支援を図りました。

目 5 図書館費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
137,787,000円	137,316,899円		470,101円

市民の文化生活の向上に資するため、資料の収集整備と図書館サービスの質的向上を図り、生涯学習時代にふさわしい「市民の図書館」づくりに努めました。また、施設・設備の改修等、適正な維持管理を行い、効果的な予算の執行に努めました。

〔委員報酬〕 190,900円

・図書館協議会委員 8人

〔図書資料整備費〕 38,342,918円

図 書 区 分	10年度末蔵書冊数	受 入 冊 数	払 出 冊 数	11年度末蔵書冊数	
成 人 図 書	195,487	17,044	5,277	207,254	
児 童 用 図 書	54,446	3,397	3,521	54,322	
児 童 紙 芝 居	1,205	99	279	1,025	
点 字 資 料	(1,248タイトル) 4,272	(159タイトル) 664	0	(1,407タイトル) 4,936	
録 音 資 料	(2,733タイトル) 10,714	(145タイトル) 517	0	(2,878タイトル) 11,231	
特 許 製 本	5,390	0	5,390	0	
計	271,514	21,721	14,467	278,768	
移 動 図 書 館	成 人 図 書	29,887	138	879	29,146
	児 童 用 図 書	14,517	633	363	14,787
	児 童 紙 芝 居	861	8	22	847
	計	45,265	779	1,264	44,780
合 計	316,779	22,500	15,731	323,548	

〔同和問題啓発拠点推進事業費〕 1,671,220円

同和問題に関する図書・史(資)料の収集・整備に努めるとともに、同和問題関係図書を教育集会所及び市民会館へ配本しました。

〔施設管理運営費〕 58,098,290円 (その他特財 704,365円)

〔図書管理システム整備事業費〕 32,474,485円

三重県図書館情報システム(MILAI)に全面的に参画し、本格運用を開始しました。また、点字図書室にないイーブネット端末を設置し、視覚障害者サービスの向上に努めました。

〔施設整備事業費〕 6,365,586円

老朽化した1階成人室開架書架及び各種備品を更新し、利用者に快適な環境づくりに努めました。

〔負担金〕 173,500円

・日本図書館協会等

〔成 果〕

効率的かつ効果的な蔵書構成を図り、利用者サービスの向上に努めました。1階成人室開架書架の更新、利用者用ソファの更新、駐輪場の改修、正面玄関の植栽等の改修を行い、利用者が快適に利用できる環境づくりに努めました。

利用状況

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数

平成10年度	275	243,063	63,849	124,465	630,761	16,667
平成11年度	276	266,348	70,061	132,679	665,278	7,601

目6 少年自然の家費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
83,749,000円	83,644,591円		104,409円

少年自然の家は、豊かな自然の中で、集団宿泊活動、野外活動、自然・環境学習活動、芸術活動等の様々な体験活動を通して、問題解決能力、豊かな人間性、たくましい体力を身に付けた青少年を育成するため次のような事業を実施しました。

〔委員報酬〕

・少年自然の家運営協議会委員 9人 99,600円

〔主催事業費〕

・主催事業4種 14回の開催 2,968,106円
小中学生を対象とした事業 5回

春のゴリラ山アウトドアスクール	小学5・6年生 88人	5/9～10	登山, 野外炊事等
秋のゴリラ山アウトドアスクール	小学5・6年生 89人	10/24～25	登山, 野外炊事等
夏の宮妻峡アウトドアスクール	小学4・5年生 88人	7/29～30	宮妻峡ハイク・テント泊等
'99ワイルドキャンプ	小学6～中学生 58人	8/17～20	テント村作り・源流探検等
さよなら'99ウインターフェスタ	小学5・6年生 88人	12/24～25	乗馬体験・野外炊事等

家族を対象とした事業 4回

「新緑の野山に飛び出せ！」	市内在住 20家族 74人	4/24～25	自然観察ハイク・創作活動
「森の中でのテント泊体験」	市内在住 23家族 86人	6/12～13	テント泊・ウナギつかみ等
「秋のさわやかな風の中で」	市内在住 22家族 86人	10/16～17	伊勢型紙よるカレンダー作り等
「新春のひとときをファミリーで」	市内在住 14家族 53人	1/22～23	もちつき・宝探し等

広く一般を対象とした事業 2回

自然塾「草木染め」	小学5年生～大人 36人	7/3～4	草木染め
自然塾「紅葉の渓谷トレッキング」	小学5年生～大人 38人	11/7日曜日	愛知川 紅葉トレッキング

指導者を対象とした事業 3回

アウトドアセミナー ①	高校生～一般 21人	4/9日曜日	炊事実習・キャンプゲーム
アウトドアセミナー ②	高校生～一般 9人	5/22日曜日	ネイチャーゲーム・炊事実習等
アウトドアセミナー ③	高校生～一般 8人	8/29～30	テント泊・自然観察等

〔整備事業費〕

20,144,250円

進入路舗装、分館乾燥室改修及び上部キャンプ場広場の新設により、利用者にとって安全でかつ天候に左右されることなく活動できる施設として整備することができました。

〔施設管理運営費〕

56,010,086円 (その他特財 12,536,506円)

利用状況

施設	自然の家・センター		キャンプ場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
7	202	17,265	27	2,012	229	19,277	16,048	3,229
8	211	17,176	23	1,743	234	18,919	15,863	3,056

9	228	18,413	23	1,743	251	20,156	16,582	3,574
10	180	15,410	43	3,229	223	18,639	15,322	3,317
11	170	15,609	57	3,609	227	19,218	16,263	2,955

〔水沢市民広場管理運営費〕 4,382,549円
 〔負担金〕 40,000円
 ・全国少年自然の家連絡協議会等

〔成 果〕

主催事業では、参加対象・季節を考慮し、生きる力をはぐくむという観点から、自己判断力と協調性を中心目標として、今後の生活に生きて働く価値ある体験活動を取り入れたことにより、友達や自分を見詰め直す契機になりました。

受入れ事業では、社会教育施設としての立場を保ちつつ柔軟な対応に心掛けたことにより、利用団体から好評を得ることができました。また、設備の改修・新設をすることにより、誰もが安心して利用しやすい施設として市民に提供することができました。

目 7 博物館費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
322,069,000円	313,221,225円		8,847,775円

平成11年度は四日市港開港百周年にあたり、これを記念した企画展を開催するなど、郷土の歴史や生活・文化に関する知識や理解を深め、市民の生涯学習活動に寄与する事業を行いました。また、併設するプラネタリウムにおいては、季節番組の放映のほか流星群の観望会等をとおして天文知識の普及、啓発に努めました。更に、市民の利用しやすく親しみやすい施設をめざして努力しています。

〔委員報酬〕 273,900円

・博物館協議会委員 19人

〔自主事業費〕 163,943,606円

・調査研究事業費 2,352,862円

六道信仰，市内寺院等資料所在調査や次年度以降企画展等調査及び古文書ボランティアも参加した「研究紀要」第7号の発行

古文書ボランティア 登録者 39人

・特別展等開催費 84,047,555円 (その他特財 16,491,839円)

展 覧 会 名 等	実 施 額	会 期	観 覧 者 数	講 演 会 等 人 数
世界の文化遺産を描く — 平山郁夫素描展	6,746,233	4/ 4 ~ 4/25	3,393人	回 人
ブルックリン美術館所蔵浮世 絵版画名品展	12,244,005	4/29 ~ 5/25	5,625	2 225
四日市港開港百周年記念 海と港の博物館展	14,240,214	7/11 ~ 8/31	5,392	2 100
新発見考古速報展 発掘された日本列島 '99	7,101,488	9/26 ~ 10/17	5,693	2 210
水の都の炎の芸術 栄光の ヴェネチアン・グラス展	18,031,058	11/13 ~ 12/28	6,111	1 108
土と炎の造形 — 池田満寿夫 『般若心経』の世界展	11,390,714	1/ 8 ~ 2/ 6	5,128	1 400

北の森から南の海へ 「新弥生紀行」	13,869,973 (16,688,273)	2/24 ~ 4/11	2,391 (3,307)	4	101
次年度事業（浮世絵展等）等	423,870				
11年度計 計 全体計	84,047,555 (86,865,855)	205日 (215)	33,733 (34,649)	12	1,144

参考 常設展合計 306日 28,052人

- ・資料収集保存事業費 22,391,649円
秤乃館の資料整理をはじめ本市及び北勢地域に関連のある展示・研究資料の収集保存、資料委員会の開催並びに収蔵庫及び展示室の燻蒸
- ・教育普及活動事業費 4,216,351円
博物館教室 「正倉院の歴史と宝物の源流をさぐる」定員74人受講
「『続日本紀』を読む」定員27人受講
夏休み子ども博物館教室「古代人になってみれば」定員21人受講
月例土曜講演会 12回 908人受講
解説ボランティア 登録者 124人
三重県移動博物館への出陳
- ・プラネタリウム運営事業費 50,275,037円（その他特財 6,810,090円）
一般投映季節番組

内 容	期 間
春の星座解説と「太陽へのミステリーツアー」	3/21 ~ 6/13
夏の星座解説と「ドラえもん」	6/19 ~ 9/12
秋の星座解説と「星占いの星座」	9/18 ~ 12/12
冬の星座解説と「国際宇宙ステーション」	12/19 ~ 3/12

投映回数合計 1,056回
観覧者数合計 31,234人

ヒーリングプラネタリウム（音楽を中心とした心と体の癒しのプラネタリウム）

学習投映番組（学校園団体利用）

特別番組 外部講師による解説投映、 星空生演奏コンサート
星空CDコンサート、 春休み幼児向け番組

観望会 流星群観望会

天文教室 親子星空教室、 子ども天文教室

展示会 天体写真展

- ・移動天文車運営事業費 660,152円
「きらら号」稼働状況 申込90件、出動71回（天文教室含む）、6,971人参加
天文指導員（ボランティア）登録者 63人

〔施設管理運営費〕 148,589,219円（その他特財 2,611,596円）

〔少子化対策整備費〕 325,500円（国庫支出金 325,500円）

館内にベビーシート2台を設置し、乳児連れ来館者が安心して利用できる施設環境づくりを進めました。

〔負担金〕 89,000円

- ・日本博物館協会等

〔成 果〕

特別展等の企画展示については、開港百周年記念展をはじめ、絵画、浮世絵、陶彫から埋蔵文化財ガラスまで広範多彩に展覧会を行いました。ガラスや陶彫など従来にない展示により新たな趣向の来館者を得られたものとみられます。学校週5日制を前に、子どもを対象とした行事にも力を入れ、ノウハウを積み上げました。また、展覧会の解説ボランティアも、年間延べ1,200名程が活動し、市民とともに学びあう機会をもてました。

プラネタリウムについては、従来からの学校、園対象の番組や一般投映季節番組等に、音楽を中心としたヒーリングプラネタリウムを新規に加えて、合計3万人の観覧者を確保できました。また移動天文車についても、天文指導員（ボランティア）の協力のもと、約7,000人の市民に実際の星空を観望いただきました。

項 6 保健体育費
目 1 保健体育総務費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
148,027,000円	145,906,573円		2,120,427円

〔委員報酬〕		74,700円
・スポーツ振興審議会委員	9人	
〔一般職給〕	14人	133,813,023円
〔嘱託職給〕	4人	11,448,480円
〔一般経費〕		570,370円

目 2 体育振興費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
67,720,000円	67,220,709円		499,291円

スポーツは健全な日常生活を営むためになくはならないものとの市民意識の高まりによるスポーツ人口増加に対応するため、本年度も体育振興の重点をスポーツ活動の日常化に置き、各種スポーツ教室・大会を開催するとともに、各地区に体育指導委員を配置し地域のスポーツ組織の育成及びニュースポーツの普及を行い、生涯スポーツの振興に努めました。

〔スポーツ振興事業費〕	17,850,324円	
・地域スポーツ活動振興事業費		
18教室、3講習会、25大会等開催	11,936,512円	〔 県支出金 2,160,000円 その他特財 3,592,600円 〕
参加人員 9,664人		
・少年スポーツ活動振興事業費		
7教室、2講習会、8大会等開催	4,083,562円	〔 県支出金 1,125,000円 その他特財 698,600円 〕
参加人員 4,883人		
・体力づくり市民大会開催事業費		
10/10 四日市ドーム等で開催	1,346,830円	
参加人員 5,000人		
・スポーツ功労者表彰経費	483,420円	
本市のスポーツ振興に貢献されたスポーツ功労者2名、栄光者4名1団体、奨励者3名1団体を表彰		
〔学校開放事業費〕	14,627,124円	（その他特財 1,288,500円）
市内の小学校39校、中学校21校の体育施設を開放しました。		
〔補助金〕	24,865,000円	
スポーツの振興を図るため、各種団体補助金、スポーツ奨励金等を次のとおり支出しました。		
・四日市市体育協会	4,536,000円	
・三重県中学校体育連盟三泗支部	7,612,000円	
・四日市市レクリエーション協会	475,000円	
・四日市市スポーツ少年団	630,000円	
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円	
・全国大会等出場選手激励金等	6,738,000円	
・国民体育大会出場選手育成費	2,000,000円	
・全国大会等開催費	75,000円	
・少年スポーツ交流大会開催費	194,000円	
・四日市シティロード事業費	1,000,000円	
・地域スポーツ振興事業費	1,080,000円	
・スポーツ指導員派遣事業費	255,000円	
〔負担金〕	1,001,758円	
・三重県体育協会等		
〔一般経費〕	8,876,503円	

〔成 果〕

多くの市民の方が気軽にスポーツに親しめるよう、各種スポーツ教室や市民スポーツ大会を開催したところ、レクリエーションスポーツや少年スポーツの参加者が増え、前年度より約 2,000人の増加となりました。また2001年に三重県で開催される全国スポーツ・レクリエーション祭に向けて、本市で開催されるタスポニーヤ、キックベースボールといったニュースポーツのスポーツ組織が誕生しました。

目 3 体育施設費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
322,372,000円	317,348,656円		5,023,344円

霞ヶ浦プールにおいては、汚水の濾過能力低下に伴い、大規模な濾材取り替え工事を行い、また、三滝テニスコートでは、既設人工芝の老朽化に伴い、利用者の安全面を考慮し全面的な張り替え工事を行うなど、施設の整備に努めました。また、市営運動施設が市民に良好かつ安全に利用していただけるよう日常の維持管理に努めました。

〔運動施設管理運営費〕	269,499,856円	
・中央緑地運動施設等管理委託費	105,741,951円	
・一般経費	163,757,905円	(その他特財 70,989,130円)
〔運動施設整備事業費〕	47,833,800円	
・霞ヶ浦プール	10,657,500円	
・三滝運動施設	34,650,000円	
・その他運動施設	2,526,300円	
〔負担金〕	15,000円	
・三重県体育施設協会		

〔成 果〕

霞ヶ浦プールでは、濾材の取り替えにより、これまで浮遊物が多く濁りがちであったプール水も、本来の透明度を取り戻し、大勢の市民に利用され好評を得ました。

また、三滝テニスコートにおいては、人工芝の全面改修に着手し、1ヵ月半という長い工事期間であったにもかかわらず、総利用者では前年度比 112%、総収入では前年度比 102%とともに前年度を上回り、大勢の市民に利用され好評を得ました。

目 4 四日市ドーム費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
116,493,000円	108,293,728円		8,199,272円

市民サービスの向上に重点を置き、対外的にはインターネットや情報誌といったメディアの活用による積極的な広報活動を展開するとともに、全国大会規模のイベントを誘致し、ドーム利用の更なる促進に努めました。

〔自主事業費〕	238,940円	
〔イベント誘致活動費〕	716,860円	
〔施設管理運営費〕	106,139,678円	(その他特財 35,105,935円)
〔少子化対策整備費〕	152,250円	(国庫支出金 152,250円)
ドーム内にベビーシート1台を設置し、乳児連れ来場者が安心して利用できる施設環境づくりを進めました。		
〔補助金〕	1,000,000円	
・イベント開催費		
〔負担金〕	46,000円	
・全国展示場連絡協議会		

〔成 果〕

生涯スポーツの一環として、気軽に楽しむことのできるテニス、グラウンド・ゴルフの愛好者が増加傾向にある中、そのニーズに応えるべく一般公開開催日数を増やし、収益、稼働率、利用者の増加に努めました。

専用使用においては、前年度開催のジャパンフラワーフェスティバル級のイベントが行われなかったため収入、総入場者数においては大幅な落ち込みとなりました。しかし、インターネットや全国版情報誌への積極的な広報活動により、新たな各種団体による利用申込みが多数あり、一定の成果がありました。